



十月 (大)

かみなづき
神無月

胃宿

十月八日寒露の節より
月命庚戌三碧木星の月
暗剣殺東の方

旧 九月小
十月大

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	土	ひのと	七赤	北海通一般鳥獣害対策、労働衛生週間、法の日、共同募金、都民の日、亥の子餅、福島二本松提灯祭	旧九月小	六	友引	みつ	女	大やう	5.35	17.26	11.05	20.45
2日	日	つちのえ	六白	京都北野天満宮瑞穂祭(1日~5日)		七	先負	たいら	虚	大くわ	5.36	17.24	12.14	19.17
3日	月	つちのえ	五黄	●上弦九時一四分		八	佛滅	さだん	危	母倉	5.37	17.23	12.14	19.17
4日	火	かえとら	四緑	旧重陽、里親デー、三隣亡、不成就日		九	大安	とる	室	月とく	5.38	17.21	12.14	19.17
5日	水	かえとら	三碧	達磨忌、一粒万倍日		十	赤口	やぶる	壁	ぶく日	5.39	17.20	12.14	19.17
6日	木	みづのえ	二黒			十一	先勝	あやぶ	奎	大やう	5.39	17.19	12.14	19.17
7日	金	みづのえ	一白	長崎くんち(9日迄)、天一上		十二	友引	なる	婁	十し	5.40	17.17	12.14	19.17
8日	土	きえうま	九紫	寒露一六時二三分、十三夜、阿寒まほろ祭、三隣亡、一粒万倍日		十三	先負	なる	胃	くま日	5.41	17.16	12.14	19.17
9日	日	きえうま	八白	国際文通週間、世界郵便デー、大津祭、久留米高良大社例祭		十四	佛滅	おさん	昂	大やう	5.42	17.14	12.14	19.17
10日	月	ひのえ	七赤	●スポートの日、(望)五時五十分、川崎身代り不動尊認知症除・習慣病除、神戸海神社祭、東京池上本門寺御会式、一粒万倍日		十五	大安	ひらく	畢	くま日	5.43	17.13	12.14	19.17
11日	火	ひのと	六白	横浜総持寺御征忌会、芭蕉忌、不成就日		十六	赤口	とる	觜	くま日	5.44	17.12	12.14	19.17
12日	水	つちのえ	五黄	和歌山竈山神社祭、日蓮聖人忌、嵐雪忌		十七	先勝	たつ	參	くま日	5.44	17.10	12.14	19.17
13日	木	つちのえ	四緑	鐵道の日		十八	友引	のぞく	井	ぢう日	5.45	17.09	12.14	19.17
14日	金	かえとら	三碧			十九	先負	みつ	鬼	きこ	5.46	17.08	12.14	19.17

この月の天候は、大陸方面の高気圧が、いつどれほどに発達するかにかかっている。例年より早く見られる秋の長雨が早く明け、秋らしい晴天の日が多く見られる。また、発達が遅い年は十月になってもまだ台風風の心配があり、ぐずった天候が続くようである。また、「女心と秋の空」といわれるように、澄み切った青空が急変することが多いのである。晴れた日は、日中の温度がかなり昇り、夜冷え込むことが多く、気温の変化には十分注意したい。

〔婚〕十月の別称を「神無月」(旧暦十月)というが、これは、全国の氏神様がこの月に雲に集まるので、氏神不在の月という伝説によるものである。出雲の神様は、縁結びの神で、一年のうちでこの月に、全国の神がそこに集まるのは、話し合いの中に男女の縁を取り決めることも含まれているためといわれている。

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
15日	土	かえとら	二黒	釜石曳舟祭、新宮熊野速玉大社祭、姫路喧嘩祭、天理石上神宮例祭		廿	佛滅	たいら	柳	十し	5.47	17.06	12.14	19.17
16日	日	みづのえ	一白	愛媛新居浜太鼓祭		廿一	大安	さだん	星	●	5.48	17.05	12.14	19.17
17日	月	みづのえ	九紫	貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、日光東照宮秋祭		廿二	赤口	とる	張		5.49	17.04	12.14	19.17
18日	火	きえとら	八白	●下弦二時一五分、統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養		廿三	先勝	やぶる	翼	大やう	5.50	17.02	12.14	19.17
19日	水	きえとら	七赤	東京建勲神社船岡祭、東京日本橋べつたら市		廿四	友引	あやぶ	軫	神よし	5.50	17.01	12.14	19.17
20日	木	ひのえ	六白	土用一十九時一三分、えびす講、誓文払い、三隣亡、一粒万倍日、不成就日		廿五	先負	なる	角	神よし	5.51	17.00	12.14	19.17
21日	金	ひのえ	五黄	宇都宮二荒山神社例祭		廿六	佛滅	おさん	亢	神よし	5.52	16.59	12.14	19.17
22日	土	つちのえ	四緑	京都平安神宮時代祭、京都鞍馬の火まつり、天しや		廿七	大安	ひらく	氏	よろづ	5.53	16.58	12.14	19.17
23日	日	つちのえ	三碧	霜降一十九時三六分、電信電話記念日、伊賀上野天神祭、一粒万倍日		廿八	赤口	とる	房	神よし	5.54	16.56	12.14	19.17
24日	月	かえとら	二黒	国連の日		廿九	先勝	たつ	心	大やう	5.55	16.55	12.14	19.17
25日	火	かえとら	一白	●朔一九時四九分、旧亥の子餅、旧十月大		朔	佛滅	のぞく	尾	百事吉	5.56	16.54	12.14	19.17
26日	水	みづのえ	九紫	原子力の日、宮崎神宮例祭、八せん始め、天理教本部秋季大祭		二	大安	みつ	箕	天おん	5.57	16.53	12.14	19.17
27日	木	みづのえ	八白	読書週間(11月9日迄)		三	赤口	たいら	斗	十し	5.58	16.52	12.14	19.17
28日	金	きえとら	七赤	速記記念日、不成就日		四	先勝	さだん	牛	●	5.59	16.51	12.14	19.17
29日	土	きえとら	六白	福岡香椎宮秋季例祭		五	友引	とる	女	神よし	6.00	16.50	12.14	19.17
30日	日	ひのえ	五黄			六	先負	やぶる	虚	大やう	6.01	16.48	12.14	19.17
31日	月	ひのえ	四緑	世界勤儉デー		七	佛滅	あやぶ	危	母倉	6.01	16.47	12.14	19.17

〔葬〕葉石の効なく、または不慮の災厄にあつたり、たとえそれが眠るような長寿の大往生……であつても、現世と冥界の別は必ず一度はあるものとは知らぬが、悲しくつらいものである。儀式までの手配は次のようである。

◇死者を北枕にする。
(釈迦入滅の姿にならう)
◇目を閉ざし、手を胸の上に組むように形をとる。

◇神棚や仏壇を閉ざし、忌中の半紙を戸口に貼る。

◇死亡のことを近親や寺に知らせる。

◇葬儀の打ち合わせ。
葬儀社への交渉。
湯灌、納棺の準備及び納棺。

◇死亡通知の作成。祭壇の作成。

◇お通夜。

◇告別式、一般焼香。

〔祭〕「スポートの日」は、元々は「体育の日」と呼ばれていた(令和二年から名称変更)。昭和三十九年東京オリンピックを記念して制定。